

懐かしい二つの駅舎、川開きのみこし…

ピルの壁に「昭和の石巻」上映

31日、観慶丸本店 8ミフィルム第2弾



テスト上映で観慶丸本店の壁に浮かび上がる「昭和の石巻2」の1シーン＝石巻市中央2丁目

懐かしい昭和の石巻を、ぎわう通りに面した観慶丸本店ピルの壁に、あの頃の石巻が浮かび上がる。雨天決行。午後7時半から石巻市中央のイトピアで行われる。石巻川開き祭りでは「フィルム昭和の石巻2」

で、ISHINOMAKI金曜映画館、コミュニティセンター（東京、NPO法人20世紀アーカイブ仙台、ISHINOMAKI2・0が連携し、制作した。石巻駅の駅舎が二つあったころ昭和40年代の川開き祭りの熱気、家族連れらが楽しそうに憩う

映像や写真提供呼び掛け
懐かしい映像や写真の収集、保存活動に取り組む20世紀アーカイブ仙台は、昔の石巻の様子をとらえたフィルムや写真の主権。
昨年、好評だったことから、今年も実施することから市民から募った8ミフィルムや写真を基に編集・制作した。
石巻駅の駅舎が二つあったころ昭和40年代の川開き祭りの熱気、家族連れらが楽しそうに憩う

▲ 石巻河北 2014年7月26日

◀ 石巻河北 2014年5月30日

金曜映画館で披露

被災者の強い意思に感動

ヒュー・ジャックマンさんからメッセージ



「レ・ミゼラブル」熱気
11回目の上映会で、会場となったイトピアホール（石巻市中央2丁目）には、今まで最高の約110人の観客が詰め掛けた。メッセージは上映前に披露。被災地支援として

メッセージ全文

皆さん、こんにちは。ヒュー・ジャックマンです。
2011年の東日本大震災及び津波の被害に遭われた皆様のために、映画「レ・ミゼラブル」が特別上映されることをとても喜んでおります。当時、大災害のニュースを見た時は胸が張り裂ける思いでしたが、想像を絶するような悲劇から立ち上がり、復活しようと努力されている被災者の方々の強い意思に深く感動しました。
私の心は被災者の皆様とともにあります。今日はぜひ映画を楽しんで下さい。どうもありがとうございます。

夢と希望を持つて闘ったと語った。民衆のエネルギーを（）日本アカデミー賞協会賞の力で描いた「レ・ミゼラブル」は、昨年から被災地支援の復興のエネルギーになるように今後も映画を通して支援していきたい」と話した。
「もういちど」親子試写会
来月10日（土）日本アカデミー賞協会賞の親子試写会が、イトピアホールで実施される。当日は午後7時半から10時までの間、イトピアホールで実施される。



第10回上映会「かくや姫の物語」には開場前から列ができたイトピアホール前

金曜映画館 街中に浸透

東日本大震災後、街中に映画の灯をもちと始まったISHINOMAKI金曜映画館の上映会が先日、10回目を迎えた。館を飾った高畑勲監督の「かくや姫の物語」には若狭の市民が防犯、感動を共有し、心を重ねることに街中映画館として市民の間で浸透してきた。被災した街中の新たな交流の場になりつつある。

節目の10回、開場前から列

（83）は「通りにも人の流れであらざる見聞されたいが生まれたい戻ってくる。現地スタッフの野田さん、映画が全滅したたさん（86）は「書かれたが、往時のきわどい重なるのは再会喜びの光景が現れる」と。映画館が街中に足を運ぶことができたように、これも感動を届けた」と話す。
金曜映画館は、コミュニティセンター（東京、NPO法人20世紀アーカイブ仙台、ISHINOMAKI2・0が連携し、制作した。石巻駅の駅舎が二つあったころ昭和40年代の川開き祭りの熱気、家族連れらが楽しそうに憩う

▲ 石巻河北 2014年7月19日